

2019 年度 立命館学校教育研究会 総会・春季大会 報告

子ども理解と教師の指導・支援

ーいじめ・不登校と「チーム学校」を問うー

日時：2019 年 6 月 16 日（日）

13：00～16：30

会場：立命館大学朱雀キャンパス

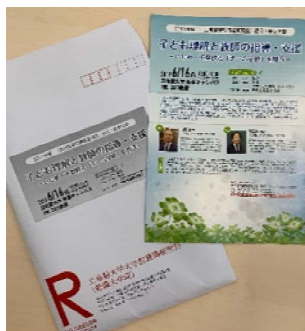
【 総会 】



立命館大学朱雀キャンパスにおいて、2019 年度立命館学校教育研究会総会を開催いたしました。

児玉敏男会長の挨拶で始まり、2019 年度から 2020 年度までの新運営委員、前年度の事業報告や本年度の活動計画、そして「学校教育研究会の運営に関わる申し合わせ」の一部改正について提案があり、いずれも承認されました。

次に、本学の教職支援センターより、2019 年度教員採用試験受験結果、教職課程履修者の学習状況や取り組みについて報告がありました。最後に、児玉会長から秋季大会において、会員に実践発表の場を提供することについて提案があり、閉会の運びとなりました。



【 対談 】

今年度は、立命館大学教職大学院教授の春日井敏之教授と山岡雅弘教授をお迎えし、「子ども理解と教師の指導・支援ーいじめ・不登校と「チーム学校」を問うー」というテーマで対談をしていただきました。



春日井教授、山岡教授両氏は、これまでの経験と理論を織り交ぜて話され、そのつど参加者に課題を投げかけられました。これら学校現場の課題について、参加者はグループに分かれて意見交流を行いながら学びを深めていきました。



た。参加者からは非常に好評で、参加者の日ごろの実践を振り返る良い機会となった、「子どもに寄り添う」「チームとして機能する」ということに対しての大きなヒントを得たといった感想をいただきました。

【 校種別情報交換会 】

対談終了後、小学校、中学校、高等学校に分かれて情報交換会を行いました。校友教員を初め、様々な形で「教育」に関わっておられる方々の参加者によって、各校種ともに活発な意見交換がなされ、大変有意義な時間となりました。

